



熱意

小美玉市立小川南中学校 学校だより
NO. 42 令和3年3月8日 発行

教育目標 これからの時代を切り拓く たくましい生徒の育成
キーワード 熱意と誠意 ～ 本気で 明るく 粘り強く ～

県立高校受検、頑張りました！

3日(水)、4日(木)、3年生が県立高校受検に臨みました。コロナ禍で心配していた発熱等もなく、74人全員が無事に受検をすることができました。

次の日に、「どうだった？」と聞くと、「自己採点ではいつもの点数が取れた！」「難しかった！」などの答えが返ってきました。

保護者の皆様には、受検までの生徒の体調管理には、大変気を遣われたことでしょう。お陰様で、全員の受検が終了できました。本当にありがとうございました。

受検者全員の合格を祈ります。

最後の道徳授業（3年）

2月26日(金)、3年生で最後の道徳の授業が行われました。今回の内容は「家族愛」。3年生3クラスとも同じ内容で、同じ時間に行われました。しかし、扱っている内容には学級差がありました。1組では、担任の飯田教諭が自分の家族についての話をしており、生徒はその内容に聞き入っていました。

最後に家族からの手紙として、保護者の皆様から生徒に宛てた手紙を静かに読みました。始めはニコニコしていた生徒も、次第に真剣に読み進めていました。すると、後ろで見ていた私にも分かるくらいに生徒の耳の色が赤く染まっていきました。感情を抑えきれずに涙を流している生徒もいました。どれだけ自分が大切に思われているかを感じ取ることができたのでしょうか。きっと、そんな自分を大切に
して、卒業後も精一杯生きてくれると信じています。

最後に、手紙を書いてくださった保護者の皆様、ご協力、本当にありがとうございました。



イカの解剖（1・2年）

1日(月)、1年生と2年生が理科の授業でイカの解剖を行いました。昨年度までは、2年生だけで指導する内容でした。しかし、次年度からの新学習指導要領完全実施を受けて、本年度は2学年同時に実施しました。



写真は、1時間目の1年1組の様子です。イカの体のつくりについて、

解剖しながら詳しく観察していました。目をくりぬき、中の水晶体を出すところでは、大きな目を取り出せずに苦戦していました。また、胃の中身を確認する場面では、たくさんある臓器のなかで胃を探すの苦勞し、他の班まで確認にいく姿がありました。

試食 & 食育

イカの解剖の後は、どのクラスもイカの試食を行いました。調理したのは古宇田栄養教諭、浅野亜沙美教諭、スセルA.L.T。調理室できれいに洗ったイカを焼いて生徒に食べさせました。

その後、古宇田栄養教諭と大津養護助教諭による食育を行いました。「成長期に必要な栄養素」について考



えました。授業の最後に振り返りとして生徒が書いたまとめには、「バランスよく食べることが必要」「カルシウムや鉄を多く含む食事を心掛ける」などがありました。心も体も大きく成長する中学生のときに、食事に注意することでこれからの人生を健康に生活できるようにしてほしいです。

